

## [2] 2007年11月山口県文書館所蔵絵図資料調査報告

### Report on Survey of Coloration Materials in Pictorial Maps in the Collection of Yamaguchi Prefectural Archive

#### I 調査の概要

##### 1. 調査概要・調査方法

調査日時 : 平成19年11月5日～6日

調査実施場所 : 山口県文書館閲覧室

##### 調査メンバー一覧

担当	氏名	所属
統括	杉本史子	東京大学史料編纂所
調査図選定	礒永和貴	東亜大学人間科学部
科学的調査	早川泰弘	東京文化財研究所保存修復科学センター
科学的調査	吉田直人	東京文化財研究所保存修復科学センター
科学的調査ポイント決定	村岡ゆかり	東京大学史料編纂所
書誌調査	国木田明子	神戸市立博物館
	高島晶彦	東京大学史料編纂所
	小野寺淳	茨城大学
	喜多祐子	宝塚市立中央図書館
	河村克典	山口県文書館
	山田稔	山口県文書館

国絵図研究会からも参加者あり

調査概要 : 2006～2009年度科学研究費補助金・基盤(A)「地図史科学の構築-前近代地図データ集積・公開のために-」(研究代表者 東京大学史料編纂所准教授・杉本史子)の研究の一環として、山口県文書館に所蔵されている江戸期絵図資料の彩色材料を蛍光X線分析法(XRF)、可視反射スペクトル測定法およびデジタル顕微鏡により調査した。本調査準備には、礒永和貴があたった。調査対象図の選定にあたっては、国絵図については、山口県文書館河村克典氏の御教示をいただきながら本科研礒永和貴が決定し、地下上申図については、山口県文書館山田稔氏の御教示を得た。

## II 科学的手法による彩色材料調査報告

### (1) 調査の概要と分析結果 吉田直人・早川泰弘

1. 調査概要・調査方法
2. 蛍光X線分析結果(データ及びコメント)
3. 可視反射スペクトル測定結果(コメント)
4. 蛍光X線分析結果まとめ
5. 可視反射スペクトル分析結果まとめ

### (2) 個別絵図の測定データ 吉田直人・早川泰弘(測定)・村岡ゆかり(編集)

整理番号	史料群	標題	撮影
1. 58 絵図 244-1	毛利家文庫	御両国絵図	
2. 地下上申絵図 523	県庁伝来旧藩記録	恒富村清図	
3. 58 絵図 238-1	毛利家文庫	防長両国大絵図	
4. 地下上申絵図 1212	県庁伝来旧藩記録	八道村地下図	
5. 地下上申絵図 996	県庁伝来旧藩記録	下田万村清図	
6. 地下上申絵図 872	県庁伝来旧藩記録	椿東分清図(副)	XRF のみ
7. 地下上申絵図 995	県庁伝来旧藩記録	下田万村地下図	XRF のみ
8. 地下上申絵図 417	県庁伝来旧藩記録	高瀬村地下図	
9. 地下上申絵図 1071	県庁伝来旧藩記録	藤谷村清図	XRF のみ
10. 30 地誌 57	毛利家文庫	御国廻行程記	XRF のみ

\*本稿は、東京文化財研究所保存修復科学センター主任研究員吉田直人・分析科学研究室長早川泰弘両氏によって作成された『山口県文書館所蔵資料の彩色材料調査結果報告』(2008年1月10日)を元に、東京大学史料編纂所技術専門職員村岡ゆかりによるデータ編集・色料推定を加えたものである。なお、紙数の制約のためグラフ等の数値が判読困難な箇所については、第I部別添 CD-ROM のデータを参照のこと。

測定条件：

- ・ X線管球： Re(レニウム)
- ・ 管電圧、管電流： 35kV、8 $\mu$ A
- ・ X線照射径、照射時間： 約 $\phi$ 5mm、100～200秒
- ・ 照射距離： 約1cm

#### 【可視反射分光スペクトル測定法】

測定機器：下記の構成からなる可視反射分光スペクトル測定システム

- ・ 分光光度計 大塚電子製 MCPD-7000
- ・ 外部光源 同 MC-2530 (ハロゲンランプ)
- ・ 石英製 Y字型光ファイバー (長さ3m、照射・受光部は同軸)
- ・ 制御用ノート型 PC (Windows2000 および制御ソフトウェア搭載)

- 測定条件
- ・ 測定波長：380～800 nm (波長分解能 1.25 nm)
  - ・ 測定時間：120 ミリ秒 (10回繰り返し測定の平均値)
  - ・ 照射距離：約1cm
  - ・ 白色校正：セラミック製標準白色板を使用

#### 【デジタル顕微鏡画像撮影】

測定機器：キーエンス デジタルマイクロスコープ VHX-100

- 測定条件
- ・ 倍率：25倍および175倍
  - ・ 画像保存：超高精細画像をJPEGフォーマットにて保存

本調査に当たって、河村氏・山田氏をはじめとする山口県文書館の皆さんから貴重な御教示と調査への厚意をいただきましたことにお礼申し上げます。

## 2 山口県文書館収蔵 国絵図の蛍光X線分析結果

測定No.	測定部位	色	蛍光X線強度 (cps)						
			カルシウム (Ca-K $\alpha$ )	鉄 (Fe-K $\alpha$ )	銅 (Cu-K $\alpha$ )	ヒ素 (As-K $\alpha$ )	水銀 (Hg-L $\beta$ )	鉛 (Pb-L $\beta$ )	
244-01	隣国(周防国)	薄赤		0.25				1.44	
244-02	隣国(石見国)	薄黄		0.30				0.65	
244-03	道	赤		0.19				1.61	
244-04	川	薄青		0.30					
244-05	文字「八」	赤		0.25				1.65	
244-06	山	薄緑		0.33					
244-07	木	深緑		0.21					
244-08	山	薄青		0.29					
244-09	橋	薄赤		0.30				1.01	
244-10	郡境	黒(光沢)		0.25					
244-11	一里塚	黒		0.28					
244-12	航路	赤		0.41				5.03	
244-13	紙地	(紙地)		0.43					
523-01	草地カ	薄緑		0.52	6.01			0.57	
523-02	家	黄土		0.39	0.89			0.31	
523-03	家	黄土		0.39	0.89			0.31	
523-04	寺(「禪宗泉香寺」)壁	薄赤		0.35	2.64			2.76	
523-05	寺(「禪宗泉香寺」)屋根	黄土		0.41	1.69			2.26	
523-06	木	薄緑		0.26					
523-07	道	赤		0.29				2.06	
523-08	色紙「東」	白	0.83	0.17				0.31	
523-09	畑	薄黄		0.21					
523-10	川	薄青		0.18					
523-11	山	暗青		0.41					
523-12	村高・知行主書付枠	赤		0.35				0.76	
238-01	凡例(村形色)	緑		0.40	28.27				
238-02	凡例(村形色)	暗赤	0.23					7.82	0.46
238-03	凡例(村形色)	赤茶	0.29	0.16				5.09	0.46
238-04	凡例(村形色)	青	0.81						
238-05	凡例(村形色)	黄	0.97						
238-06	凡例(村形色)	桃	0.64	0.25				7.64	0.79
238-07	凡例(村形色)	紫	0.23						
238-08	凡例(村形色)	茶						5.88	0.22
238-09	凡例(村形色)	(紙地)							
238-10	凡例(村形枠線)	緑			3.40				
238-11	凡例(村形枠線)	(紙地)							
238-12	凡例(村形枠線)	赤	0.23					7.05	
238-13	凡例(村形色)	(紙地)							
238-14	凡例(村形枠線)	黒							
238-15	凡例(村形枠線)	赤/緑			15.81			2.01	
238-16	隣国(周防国)	黄	0.78	0.18					
238-17	海	青		0.16					
238-18	郡境	黒							
238-19	山	薄緑							
238-20	道	赤						16.59	1.51
238-21	木	緑		0.67	21.46			1.09	0.52
238-22	木の幹	赤茶		0.55	17.99			1.20	0.49
238-23	川	薄青							
238-24	航路	赤						9.85	0.98
238-25	隣国(石見国)	薄青	0.86						
238-26	木の幹	灰緑		0.29	13.91				
238-27	一里塚	黒						1.57	
1212-01	一里山	橙							20.01

## &lt;分析結果に関するコメント&gt;

- 244 紙地からは少量のFeが検出されるだけである。Caは一切検出されず、胡粉等は塗られていない  
全測定箇所から少量のFeが検出されるが、紙地に由来するものである。  
赤色の道(02)、文字(05)、航路(12)などからはHgが大量に検出される。  
薄赤色の橋(09)もHgだけしか検出されていない。  
薄青色の川(04)、山(08)、薄緑色の山(06)、深緑色の木(07)からは少量のFe以外検出されない。  
→緑色、青色は染料による着色  
黒色の郡境(10)、一里塚(11)からも少量のFeが検出されるだけ。  
→墨と考えられるが、光沢の有無の理由はわからない。  
薄黄(02)で検出されているHgは01に由来するものであり、黄色は染料と考えられる。
- 523 色紙の白色部(08)からはCaが検出されるが、他の箇所からCaは一切検出されない。  
全測定箇所から少量のFeが検出されるが、紙地に由来するものと考えられる。  
寺(04)、道(07)、枠線(12)のはやや異なった赤色として観察されるが、Hgと少量のFeが検出されるだけ。  
黄土色(02,03,05)から少量のHgが検出されている。Cuは周囲の緑色に由来するものである。  
草地(01)の薄緑からはCuが大量に検出されるが、木(06)の薄緑からは検出されない。  
畑(09)の薄黄、川(10)の薄青、山(11)の暗青からは少量のFe以外検出されない。  
→これらの箇所は染料による着色
- 238 凡例(村形色)について、  
緑色(01,10)からはCuが検出され顔料が使われていることがわかる。  
暗赤(02)、赤茶(03)、桃(06)、茶(08)からはHgが主として検出される。同時にPb, Caが微量検出される。  
この絵図ではHgが検出される箇所でも微量のPbが同時に検出されている特徴がある。  
→Hg/Pb/Caの量比と何らかの染料の併用で色調を変えている？  
青(04)、黄(05)、紫(07)からはCaが検出されただけである。胡粉と染料が併用されていると考えられる。  
09,11,13は紙地そのままであり、色料は塗布されていない。  
黒(14)には墨が使われていると思われる。
- 黄色地(16)から顕著に検出されるのはCaだけである。胡粉と黄色染料が併用されている。  
海(17)、川(23)の青・薄青からは微量のFe以外検出されず、染料による着色である。  
木(21)の緑、木の幹(26)の灰緑にはCu顔料が使われているが、山(19)の薄緑は染料である  
黒(18,27)には墨が使われていると思われる。

## 山口県文書館収蔵 国絵図の蛍光X線分析結果

測定No.	測定部位	色	蛍光X線強度 (cps)					
			カルシウム	鉄	銅	ヒ素	水銀	鉛
			(Ca-K $\alpha$ )	(Fe-K $\alpha$ )	(Cu-K $\alpha$ )	(As-K $\alpha$ )	(Hg-L $\beta$ )	(Pb-L $\beta$ )
1212-02	道	茶		1.82				
1212-03	田	黄		0.26				
1212-04	山	青		0.38				
1212-05	木立	緑		0.35				
1212-06	文字「ろ」	赤					55.03	
1212-07	川	薄青		0.23				
1212-08	寺	暗橙		0.27				28.34
1212-09	裏面文字	赤		0.26			1.58	
1212-10	岩	薄黒		0.20				
1212-11	「堤」	(紙地)		0.17				
1212-12	「畠」	茶		0.15				
996-01	崖	薄橙		0.20			0.28	
996-02	海	薄青						
996-03	山裾	薄緑		0.29	7.85	1.03		
996-04	平地	薄黄						
996-05	道	赤		0.15			2.19	
996-06	村形	白	1.18		0.13			
996-07	家	橙/緑		0.13	1.77	0.36	0.25	
996-08	山	薄黒	Data未保存					
996-09	木の幹	暗赤		0.05	0.35		0.75	
872-01	道	赤					2.21	
872-02	木立(平地)	濃緑		0.59	14.95	0.58	0.55	
872-03	草むら	薄緑		0.55	9.53			
872-04	木立(山)	濃緑		0.68	19.00	0.94		
872-05	木の幹	赤茶		0.28			1.02	
872-06	境界表示	薄赤/薄緑		0.36	1.33			
872-07	高札(「鉄砲札」)	赤茶		0.16	0.21		1.23	
872-08	宮	赤			0.33		3.15	
872-09	一里塚	薄赤茶		0.27	0.25		1.11	
995-01	岩場	薄橙		0.21			0.47	
995-02	海	薄青						
995-03	山	薄黒						
995-04	平地	薄黄						
995-05	道	赤					5.41	
995-06	村形	(紙地)						
995-07	山裾	薄橙					2.68	
417-01	田	薄茶		0.27				
417-02	道	薄赤/濃赤						6.10
1071-01	平地	黄		0.26				
1071-02	山裾	薄橙		0.22			0.72	
1071-03	村形	白	0.61					
577-7-1-01	凡例(郡書付地色)	白	0.80	0.18				
577-7-1-02	凡例(二冊目相紋)	青	0.59					
577-7-1-03	凡例(寺書付地色)	緑		0.30	13.33			
577-7-1-04	凡例(寺の屋根)	茶		0.22	0.90		3.01	
577-7-1-05	凡例(寺)	赤		0.22			1.91	
577-7-1-06	凡例(高札屋根)	茶	0.29	0.21			0.73	
577-7-1-07	凡例(一里山)	薄橙	0.66	0.22			0.19	
577-7-1-08	凡例(百姓家町屋)	茶		0.14			0.56	

<分析結果に関するコメント>

1212 多くの箇所から少量のFeが検出されるが、紙地に由来するものである。

Caは一切検出されず、胡粉等は塗られていない

橙色の一里山(01)、暗橙色の寺(08)からPbが大量に検出される。

赤色文字(06,09)ではHgが検出される。

田の黄色(03)、山の青(04)、川の薄青色(07)、木立の緑色(05)からは少量のFe以外検出されない。

→これらの箇所は染料による着色

道の茶色(02)からはFeが多く検出され、Fe系茶色材料が使われている可能性がある。

ただし、畠(12)の茶色からはFeが顕著に検出されず、異なる材料が使われている。

黒色(10)には墨が使われていると思われる。

996 色紙の白色部(06)からはCaが検出されるが、他の箇所からCaは一切検出されない。

多くの測定箇所から少量のFeが検出されるが、紙地に由来するものと考えられる。

道(05)、木の幹(09)の赤色からHgが検出される。

崖(01)、家(07)の橙色(01,07)から検出されるのも、強度は小さいがHgだけである。

山裾(03)などの緑色では主成分Cuとともに少量のAsを検出し、Asを含むCu化合物(顔料)を使用。

平地の薄黄色(04)、海の薄青色(02)からは少量のFe以外検出されない。

→これらの箇所は染料による着色

黒色(08)には墨が使われていると思われる。

872 Caが検出された箇所はない。

多くの測定箇所から少量のFeが検出されるが、紙地に由来するものと考えられる。

道(01)、宮(08)の赤色および木の幹(05)、高札(07)、一里塚(09)の赤茶からはHgが検出されるだけ。

ただし、道の薄赤色(06)からはHgが検出されず、染料が使われている可能性がある。

木立の濃緑色(02,04)では少量のAsを含むCu化合物(顔料)が使われている。

一方、草むら(03)境界(06)の薄緑色からはCuは検出されるがAsは検出されない。2種類の顔料使い分け。

2種類の緑色顔料が使い分けられている可能性がある。

995 996の下図として製作されたものである。緑色に塗られている箇所はない。

Caが検出された箇所はない。Feが検出された箇所も少ない。紙(の種類、処理)が他とは異なっている？

道の赤色(05)および岩場(01)、山裾(07)の薄橙からはHgが検出された。

海の薄青色(02)、平地の薄黄(04)からは、何も検出されない。

黒色(03)からも、何も検出されず、墨が使われていると思われる。

417 田の薄茶(01)からは少量のFeが検出されただけである。これは紙地に由来するものと考えられる。

道の赤色(02)からはPbが検出された。Pb系赤色顔料が使われている。

1071 色紙の白色部(03)からはCaが検出されるが、他の箇所からCaは検出されない。

他の測定箇所から少量のFeが検出されるが、紙地に由来するものと考えられる。

山裾(02)の薄橙からはHgが検出された。

平地の黄色(01)からは、少量のFe以外検出されない。

577-7-1 白色の凡例(01)からはCaが大量に検出された。

青色の凡例(02)からはCaが検出されただけで、染料が併用されている。

緑色の凡例(03)からはCaが検出されず、Cuが大量に検出された。

寺の赤色(05)からはHgが検出された。

茶色の屋根(04、06)、町屋(08)からもHgが検出されただけである。

一里山の薄橙色(07)からはHgとともにCaが比較的多く検出され、両者の混色が使われている

### 3 <可視反射スペクトル測定結果に関するコメント>

蛍光X線分析結果から、染料のみ、または胡粉+染料と判断された箇所について、染料についてスペクトル情報から得られた知見に関して記す。

胡粉以外の顔料と染料が併用されていると考えられる箇所については、スペクトルでの染料特定は困難であるため、今回は記していない。

244

隣国（石見国）(02)の薄黄色は染料であり鬱金またはガンボージの可能性が高い。

川(04)および山(08)の薄青色はインディゴを主成分とした染料による着色と考えられる。

山(06)の薄緑色および木(07)の深緑色はインディゴを主成分とした青色染料と黄色染料（鬱金またはガンボージ）の混色での着色と考えられる。

523

家および家の屋根(02,03,05)の黄土色は鬱金またはガンボージと考えられるが、周囲の彩色がスペクトルに影響している可能性もあるため、確定に至らない。

畑(09)の黄色は鬱金またはガンボージである可能性が高い。

川(10)の薄青色および山(11)の暗青色はインディゴを主成分とした染料と考えられる。

木(06)の薄緑色はインディゴを主成分とした青色染料と黄色染料（鬱金またはガンボージ）の混色での着色と考えられる。

238

凡例（村形色）について

凡例（村形色）(04)の青色はインディゴを主成分とした青色染料と考えられる。

凡例（村形色）(05)の黄色は鬱金またはガンボージの可能性が高い。

凡例（村形色）(06)の紫色については、スペクトルからは染料を推定出来ない。

海(17)の青色、川(23)および隣国（石見国）(25)の薄青色はインディゴを主成分とした染料と考えられる。

山(19)の緑色はインディゴを主成分とした青色染料と黄色染料（鬱金またはガンボージ）の混色での着色と考えられる。

1212

山(04)の青色および川(07)の薄青色はインディゴを主成分とした染料と考えられる。

田(03)の黄色は鬱金またはガンボージの可能性もあるが、他の測定資料の黄色とはスペクトルに相違がみられるため、判断には慎重を要する。

木立(05)の緑色はインディゴを主成分とした青色染料と黄色染料（鬱金またはガンボージ）の混色での着色と考えられる。

畠(12)の茶色は、染料である可能性があるが、スペクトルからは推定出来ない。

996

海(02)の薄青色はインディゴを主成分とした染料と考えられる。

平地(04)の薄黄色は鬱金またはガンボージの可能性が高い。

417

田(01)の薄茶色は染料の可能性はあるが、スペクトルからは推定出来ない。

(追記)

資料 1212 および 417 の茶色については、染料の特定には至らなかったが、スペクトルが類似しており、同一の材料である可能性が高い。

2007.12.27

## 4 山口県文書館収蔵 国絵図の蛍光X線分析結果 まとめ

資料番号	白	赤	橙	黄	緑	青	紫	茶	黒
244		Hg系		染料	染料	染料			墨
523	Ca系	Hg系		染料	Cu系/染料	染料			墨
238	Ca系	Hg系(+Pb系)		染料	Cu系/染料	染料			墨
1212		Hg系	Pb系	染料	染料	染料		Fe系/染料	墨
996	Ca系	Hg系		染料	Cu(As)系	染料			墨
872		Hg系/染料		○	Cu(As)系/Cu系	○			○
995		Hg系		染料		染料			墨
417		Pb系				○		染料	○
1071	Ca系	○	Hg系	染料		○			○
57-7-1	Ca系	Hg系	Hg系		Cu系	染料		(Hg系)	○

空欄は、その色が使われていない

○は、色は使われているがXRF測定せず

## 〈コメント〉

白色はCa系顔料のみ

赤～橙色はHg系顔料とPb系顔料が使われている。薄赤、濃赤、赤茶、橙色などのバリエーションあり。

黄色は染料のみ

緑色はCu系顔料と染料が使われている。顔料には少量成分Asを含むもの/含まないものの二種類あり。

青色は染料

茶色は染料が中心だが、Fe系顔料を使用している例もある。

## 5 山口県文書館収蔵 国絵図の可視反射スペクトル分析結果 まとめ

2007.1.7

資料番号	黄	緑	青	紫	茶
244	ガンボージ又は鬱金indigo系＋左記黄色染料 indigo系				
523	ガンボージ又は鬱金indigo系＋左記黄色染料 indigo系				
238	ガンボージ又は鬱金indigo系＋左記黄色染料 indigo系				
1212	判断不可	indigo系＋左記黄色染料	indigo系	判断不可	判断不可
996	ガンボージ又は鬱金	●	indigo系		
417	ガンボージ又は鬱金	●	○		

蛍光X線分析によって、染料のみ、または胡粉＋染料と判断された箇所についてのみ記している。  
空欄はその色が使われていない

○は、色が使われているがスペクトル測定せず

●は蛍光X線分析により、顔料と判定

## 〈コメント〉

青色はスペクトルの形状から、indigoを主要色素成分とする染料である可能性が高いと判断した。  
黄色はガンボージ又は鬱金と考えられるが、スペクトルからどちらかに確定できない。  
資料1212の黄色は、他資料の黄色とスペクトルに相違があるため、現時点では特定出来ない。  
緑色はスペクトルの形状、および顕微鏡観察で青色粉末状物質と黄色が確認されたことから、  
indigoを成分とする青色染料と黄色染料(ガンボージ又は鬱金)と考えられる。  
紫色および茶色に関しては、現時点ではその種類を判断出来ない。

## ( 2 ) 個別絵図の測定データ

### 【絵図色料調査データ 凡例】

**ポイントNo./モチーフ** : 測定ポイント・モチーフごとにナンバーを付した。

**色**: 肉眼で見たときに認識される色を示す。

**推定顔料名**: 肉眼観察・拡大画像・科学的調査の結果をうけて推定される顔料をしめす。

**絵図(部分)**: 図中の白丸は、測定対象のおおよその位置を示す。

なお、厳密にすべての撮影データが同一の箇所を対象としたものではない。

×25(キーエンス): キーエンス デジタルマイクロスコープ VHX-100による対象モチーフの25倍撮影画像

×100(ピーク): 計測顕微鏡(ピーク・ワイド・スタンド・マイクロスコープ×100 東海産業社製)による撮影画像。

×175(キーエンス): キーエンス デジタルマイクロスコープ VHX-100 による対象モチーフの175倍撮影画像

**赤外線写真**: 赤外線写真は、SONY 社製 CyberShot に IR80 フィルターを装着し、night shot モードで撮影した。

**可視反射スペクトル**: 分光光度計 大塚電子製 MCPD-7000 による測定結果。(測定条件など詳細は調査概要参照)

彩色材料はその種類によって特異的な可視光の吸収及び反射特性を有する。

その特性を波長と反射率の関係としてプロットしたものが可視反射スペクトルである。グラフでは、横軸が波長で縦軸が反射率を示す。

**蛍光 X 線スペクトル**: EDAX 製 XT-35 による蛍光 X 線分析の結果を右の表に掲載。

得られた蛍光 X 線スペクトルと、検出された元素の検出強度を示した。

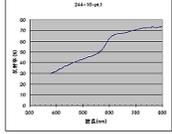
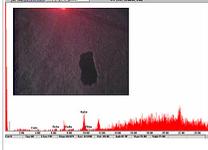
スペクトルの横軸は蛍光 X 線のエネルギーを示し、縦軸は、検出強度を示す。

写真は測定箇所付近を撮影したもの。測定ポイントは、レーザーポインターによる照射位置の右方約 10mm で、直径約 7mm の領域である。

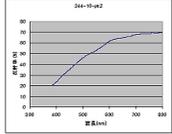
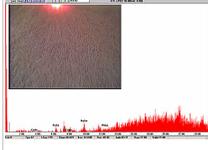
絵図（毛利家文書 資料番号244）の測定ポイント



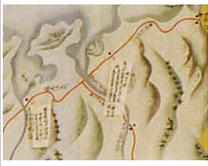
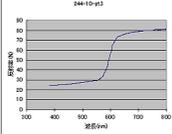
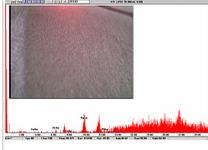
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	国(周防)	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分: Hg 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

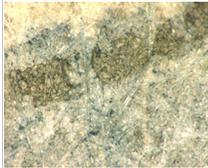
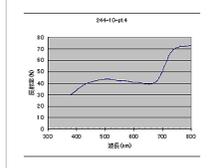
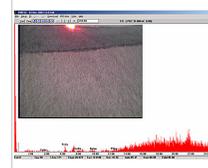
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	国(石見)	色	黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄色、175倍顕微鏡写真の観察で黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、ガンボージ又は鬱金を主成分とする染料の特徴を示していることから、藤黄と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分: 検出せず 天保国絵図献上控 Hgは、周防国の反応か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

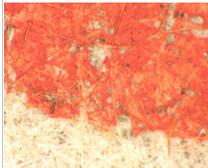
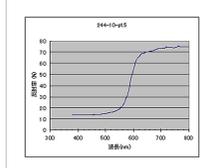
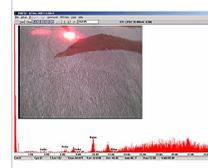
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	道	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分: Hg 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

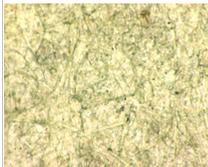
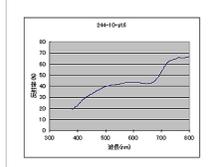
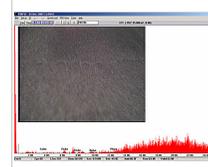
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	川	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色、175倍顕微鏡写真の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:検出せず 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

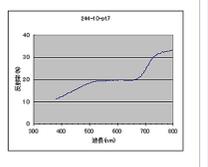
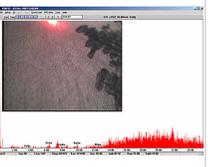
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	文字	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Hg 天保国絵図献上控 「八」
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

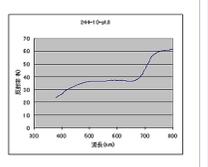
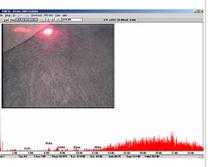
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	山	色	薄緑色	推定顔料名	草の汁か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄緑色、175倍顕微鏡写真の観察で青色と黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料とガンボージ又は鬱金を主成分とする染料混色の特徴を示していることから、藍と藤黄の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:検出せず 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

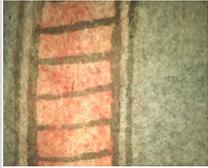
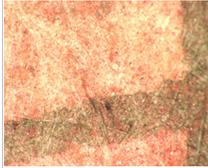
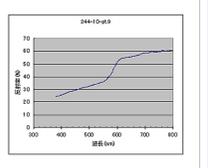
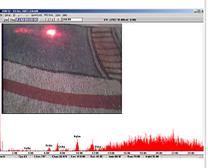
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	7	モチーフ	葉	色	深緑色	推定顔料名	草の汁か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で深緑色、175倍顕微鏡写真の観察で青色と黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料とガンボーシ又は鬱金を主成分とする染料混色の特徴を示していることから、草の汁(藍と藤黄)の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:検出せず	メモ
		画像なし		画像なし				天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

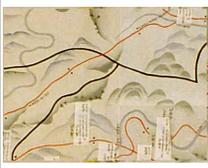
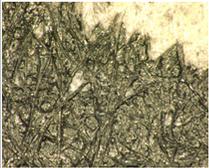
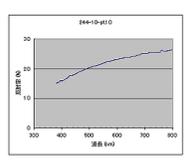
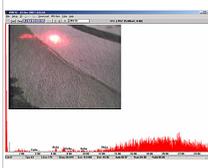
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	8	モチーフ	山	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05		2009/12/14	DICNo.		肉眼で薄青色、175倍顕微鏡写真の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:検出せず	メモ
		画像なし		画像なし				天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

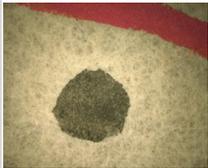
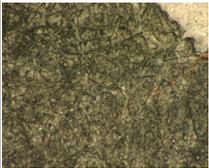
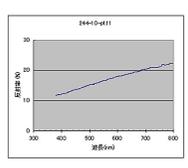
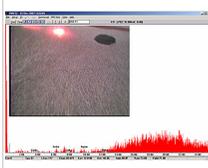
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	9	モチーフ	橋	色	薄赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Hg	メモ
		画像なし		画像なし				天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

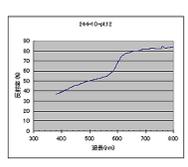
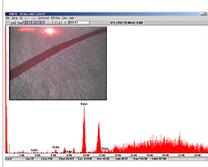
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	10	モチーフ	郡境	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色、175倍顕微鏡写真の観察で黒色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:検出せず 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	11	モチーフ	一里塚	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色、175倍顕微鏡写真の観察で黒色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:検出せず 天保国絵図献上控 光沢あり
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

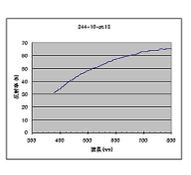
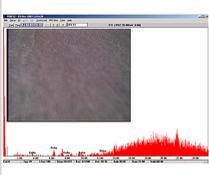
絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	12	モチーフ	航路	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Hg 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	244-10	御両国絵図 長門国7巻	所蔵期間	山口県文書館
-----	--------	-------------	------	--------

ポイントNo.	13	モチーフ	地色
絵図調査日	2007/11/05		

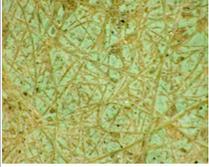
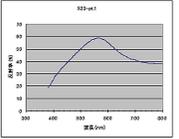
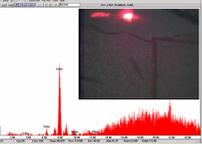
色	紙地	推定顔料名	色なし
DICNo.		肉眼で紙色、175倍顕微鏡写真の観察で紙色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、色なしと推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:検出せず	メモ
		画像なし		画像なし			<input type="text"/>	天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	<input type="text"/>	
							<input type="text"/>	

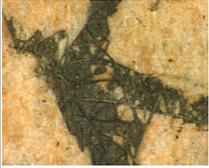
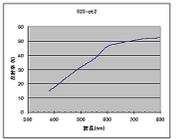
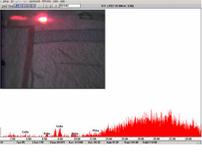
地下上申絵図（資料番号523）の測定ポイント



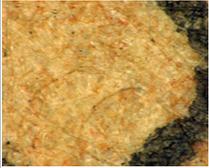
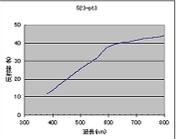
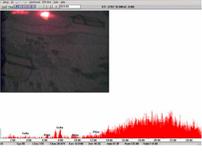
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	草地	色	薄緑色	推定顔料名	白緑か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄緑色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で緑色の粒子を確認。蛍光X線分析はCu元素が検出したことから、白緑と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Cu	メモ
				画像なし			<input type="text"/>	天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/06測定	<input type="text"/>	

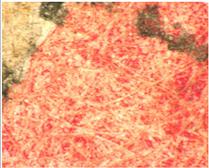
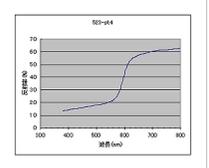
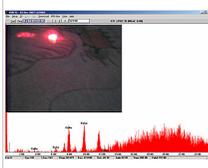
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	壁(民家)	色	黄土色	推定顔料名	朱+藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄土色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子、黄色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、ガンボージ又は鬱金を主成分とする染料の特徴を示していることから、藤黄と朱の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Hg	メモ
				画像なし			<input type="text"/>	天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	<input type="text"/>	Cuは周囲の緑色に由来か

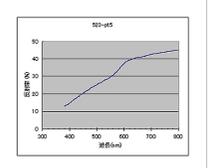
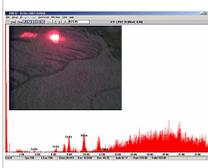
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	壁(民家)	色	黄土色	推定顔料名	朱+藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄土色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子、黄色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、ガンボージ又は鬱金を主成分とする染料の特徴を示していることから、藤黄と朱の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Hg	メモ
		画像なし		画像なし			<input type="text"/>	天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	<input type="text"/>	Cuは周囲の緑色に由来か

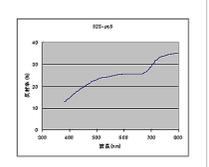
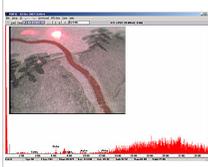
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	壁(寺)	色	薄赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄赤色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析はHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Hg	メモ
				画像なし			<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	天保国絵図献上控 禅宗泉香寺  Cuは周囲の緑色に由来か
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

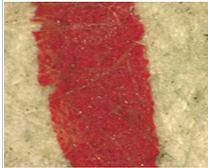
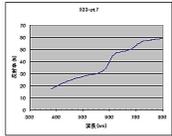
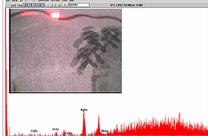
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	屋根(禅宗泉香寺)	色	黄土色	推定顔料名	朱+藤黄に墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄土色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子、黄色と黒色を確認。蛍光X線分析はHg元素が検出、可視反射分光スペクトルは、ガンボージ又は鬱金を主成分とする染料の特徴を示していることから、藤黄と朱と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Hg	メモ
				画像なし			<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	天保国絵図献上控 禅宗泉香寺  Cuは周囲の緑色に由来か
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

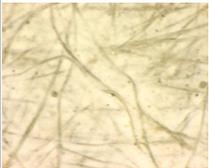
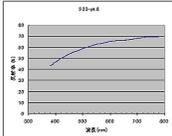
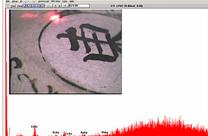
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	葉	色	薄緑色	推定顔料名	草の汁か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄緑色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で黄色と青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料とガンボージ又は鬱金を主成分とする染料混色の特徴を示していることから、草の汁(藍と藤黄)の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:検出せず	メモ
				画像なし			<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

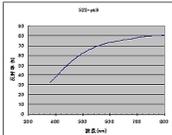
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	7	モチーフ	道	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析はHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分: Hg 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

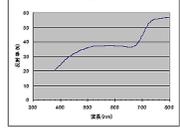
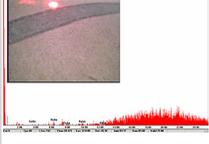
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	8	モチーフ	方位(東)	色	白色	推定顔料名	胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で白色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で白色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出したことから、胡粉と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
				画像なし			主成分: Ca 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

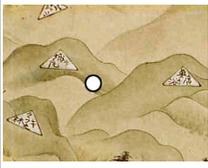
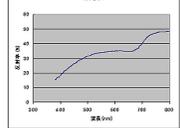
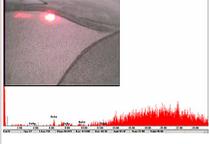
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	9	モチーフ	田	色	薄黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄黄色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、ガンボーシ又は鬱金を主成分とする染料の特徴を示していることから、藤黄と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
				画像なし			主成分: 検出せず 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

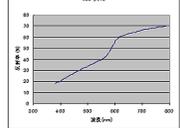
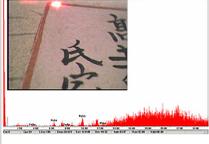
絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	10	モチーフ	川	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色、175倍顕微鏡写真の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:検出せず 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	11	モチーフ	山	色	暗青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で暗青色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

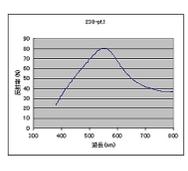
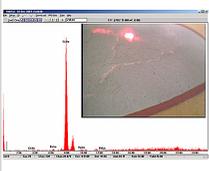
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
				画像なし			主成分:Fe 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	523	恒富村清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	12	モチーフ	村高(知行主書付枠)	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

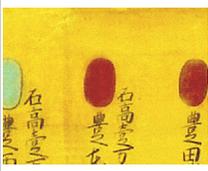
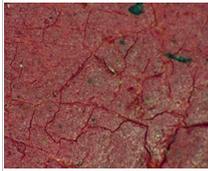
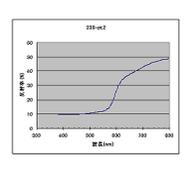
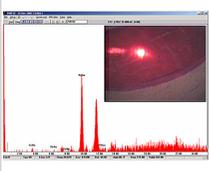
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Hg 天保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	



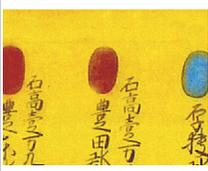
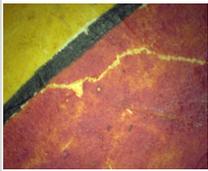
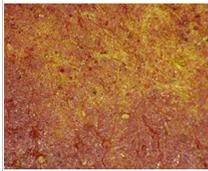
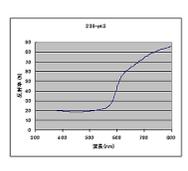
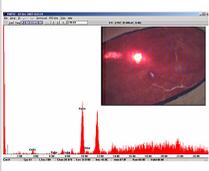
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	村形(豊西郡)	色	緑色	推定顔料名	白緑か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で緑色、175倍顕微鏡写真の観察で緑色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、緑青と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Cu 正保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

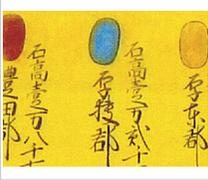
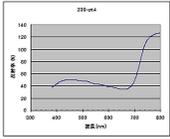
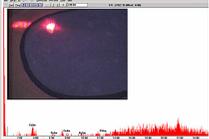
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	村形(豊東郡)	色	暗赤色	推定顔料名	朱+丹+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で暗赤色、175倍顕微鏡写真の観察でオレンジ色と赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にPb・Hg・Ca元素が検出したことから、朱と丹と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Hg 少量成分:Pb 少量成分:Ca 正保国絵図献上控 「粹」朱か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

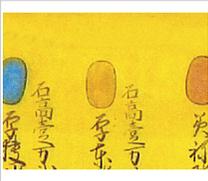
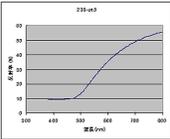
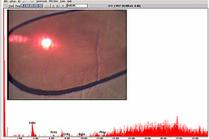
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	村形(豊田郡)	色	赤茶色	推定顔料名	朱+丹+胡粉か 朱+丹+胡粉+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤茶色、175倍顕微鏡写真の観察でオレンジ色と赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Ca・Hg元素が検出したことから、朱と丹と胡粉か朱と丹と胡粉と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Hg 少量成分:Pb 少量成分:Ca 正保国絵図献上控 「粹」墨か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

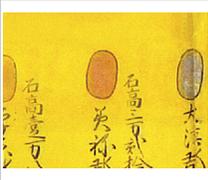
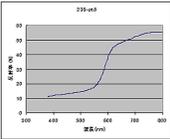
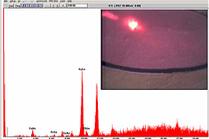
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	村形(厚狭郡)	色	青色	推定顔料名	藍+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で青色、175倍顕微鏡写真の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Ca 正保国絵図献上控 「杵」墨か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

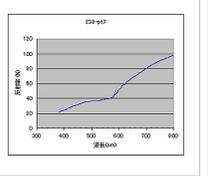
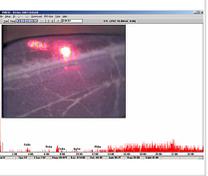
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	村形(厚東郡)	色	黄色	推定顔料名	藤黄+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄色、175倍顕微鏡写真の観察で黄色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出、可視反射分光スペクトルは、ガンボージ又は鬱金を主成分とする染料の可能性が高いことから、藤黄と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Ca 正保国絵図献上控 「杵」墨か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

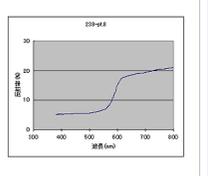
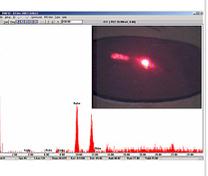
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	村形(美弥郡)	色	桃色	推定顔料名	朱+丹+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で桃色、175倍顕微鏡写真の観察でオレンジ色と赤色の粒子、白色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Ca・Hg元素が検出したことから、朱と丹と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Hg 少量成分:Ca 少量成分:Pb 正保国絵図献上控 「杵」墨か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

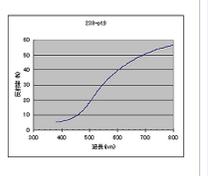
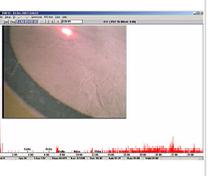
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	7	モチーフ	村形(大津郡)	色	紫色	推定顔料名	胡粉地に紫色か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で紫色、175倍顕微鏡写真の観察で白色と紫色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出、したことから、胡粉地に紫色の色料が塗られていると推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			正保国絵図献上控 「杵」墨か 紫色
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	主成分:Ca

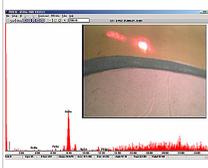
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	8	モチーフ	村形(阿武郡)	色	茶色	推定顔料名	朱+丹+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で茶色、175倍顕微鏡写真の観察でオレンジ色と赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Hg元素が検出していることから、朱と丹と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			正保国絵図献上控 「杵」墨か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	主成分:Hg 少量成分:Pb

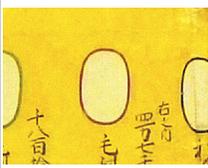
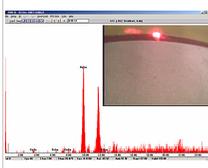
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	9	モチーフ	村形中(毛利日向守)	色	紙地	推定顔料名	色なし
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で紙色、175倍顕微鏡写真の観察で紙色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、色なしと推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			正保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	主成分:検出せず

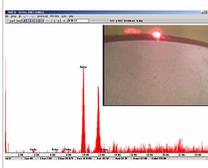
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	10	モチーフ	村形粹(毛利日向守)	色	緑色	推定顔料名	緑青か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で緑色を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、緑青と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Cu 2007/11/05測定	正保国絵図献上控

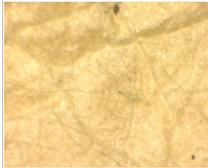
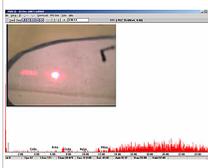
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	11	モチーフ	村形中(毛利甲斐守)	色	紙地	推定顔料名	色なし
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で紙色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、色なしと推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	 2007/11/05撮影	画像なし	 2007/11/05撮影	画像なし	画像なし	 主成分:検出せず 2007/11/05測定	正保国絵図献上控

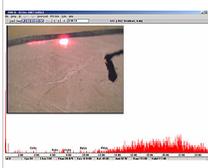
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	12	モチーフ	村形粹(毛利甲斐守)	色	赤色	推定顔料名	朱+丹+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Ca・Hg元素が検出したことから、朱と丹と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Hg 少量成分:Pb 少量成分:Ca 2007/11/05測定	正保国絵図献上控

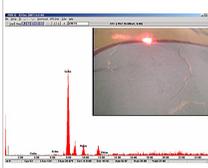
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	13	モチーフ	村形中(松平長門守)	色	紙地	推定顔料名	色なし
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で紙色、175倍顕微鏡写真の観察で紙色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、色なしと推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし	画像なし		正保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影			2007/11/05測定	

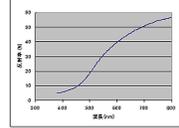
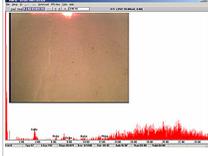
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	14	モチーフ	村形梓(松平長門守)	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		正保国絵図献上控
						2007/11/05測定	

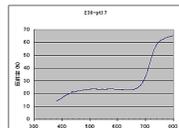
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	15	モチーフ	村形梓(豊西郡)	色	赤色・緑色	推定顔料名	緑青か 朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤・緑色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Cu元素が検出したことから、朱と緑青と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		正保国絵図献上控
						2007/11/05測定	

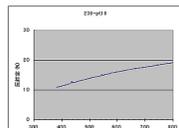
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	16	モチーフ	国(周防)	色	黄色	推定顔料名	藤黄+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄色、175倍顕微鏡写真の観察で白色と黄色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出、可視反射分光スペクトルは、ガンボーシ又は鬱金を主成分とする染料混色の特徴を示していることから、藤黄と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Ca 正保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	17	モチーフ	海	色	青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で青色を確認。蛍光X線分析は主に微量のFe元素が検出、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			少量成分:Fe 正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	18	モチーフ	郡境	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず 正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館
-----	-------	--------------	------	--------

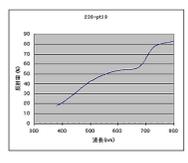
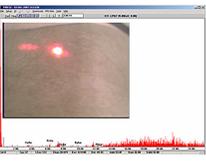
ポイントNo. 19      モチーフ 山

絵図調査日 2007/11/05

色 薄緑色      推定顔料名 草の汁か

DICNo.

肉眼で薄緑色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料とガンボージ又は鬱金を主成分とする染料混色の特徴を示していることから、草の汁（藍と藤黄）の混色と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず 正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館
-----	-------	--------------	------	--------

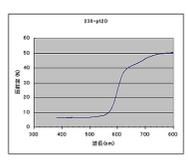
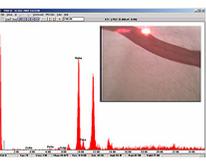
ポイントNo. 20      モチーフ 道

絵図調査日 2007/11/05

色 赤色      推定顔料名 朱+丹か

DICNo.

肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Hg元素が検出したことから、朱と丹の混色と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Hg 少量成分:Pb 正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館
-----	-------	--------------	------	--------

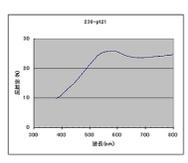
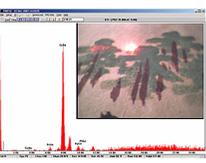
ポイントNo. 21      モチーフ 葉

絵図調査日 2007/11/05

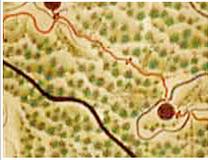
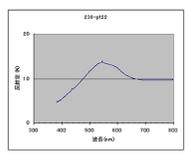
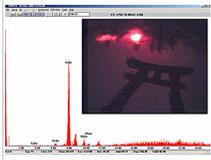
色 緑色      推定顔料名 緑青か

DICNo.

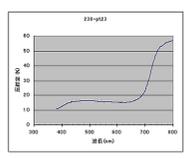
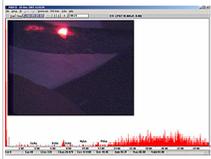
肉眼で緑色を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、緑青と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Cu 正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	

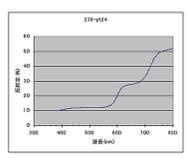
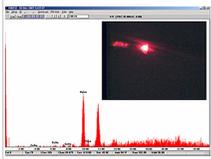
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	22	モチーフ	幹	色	赤茶色	推定顔料名	朱+丹+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤茶色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Hg元素が検出したことから、朱と丹と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Hg 少量成分:Pb
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	正保国絵図献上控 Cuは葉の反応か

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	23	モチーフ	川	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	正保国絵図献上控

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	24	モチーフ	航路	色	赤色	推定顔料名	朱+丹か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にPb・Hg元素が検出したことから、朱と丹の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Hg 少量成分:Pb
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	正保国絵図献上控

絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	25	モチーフ	国(石見)	色	薄青色	推定顔料名	藍+胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色、175倍顕微鏡写真の観察で、白色と青色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出、可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			正保国絵図献上控
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	
						主成分:Ca	

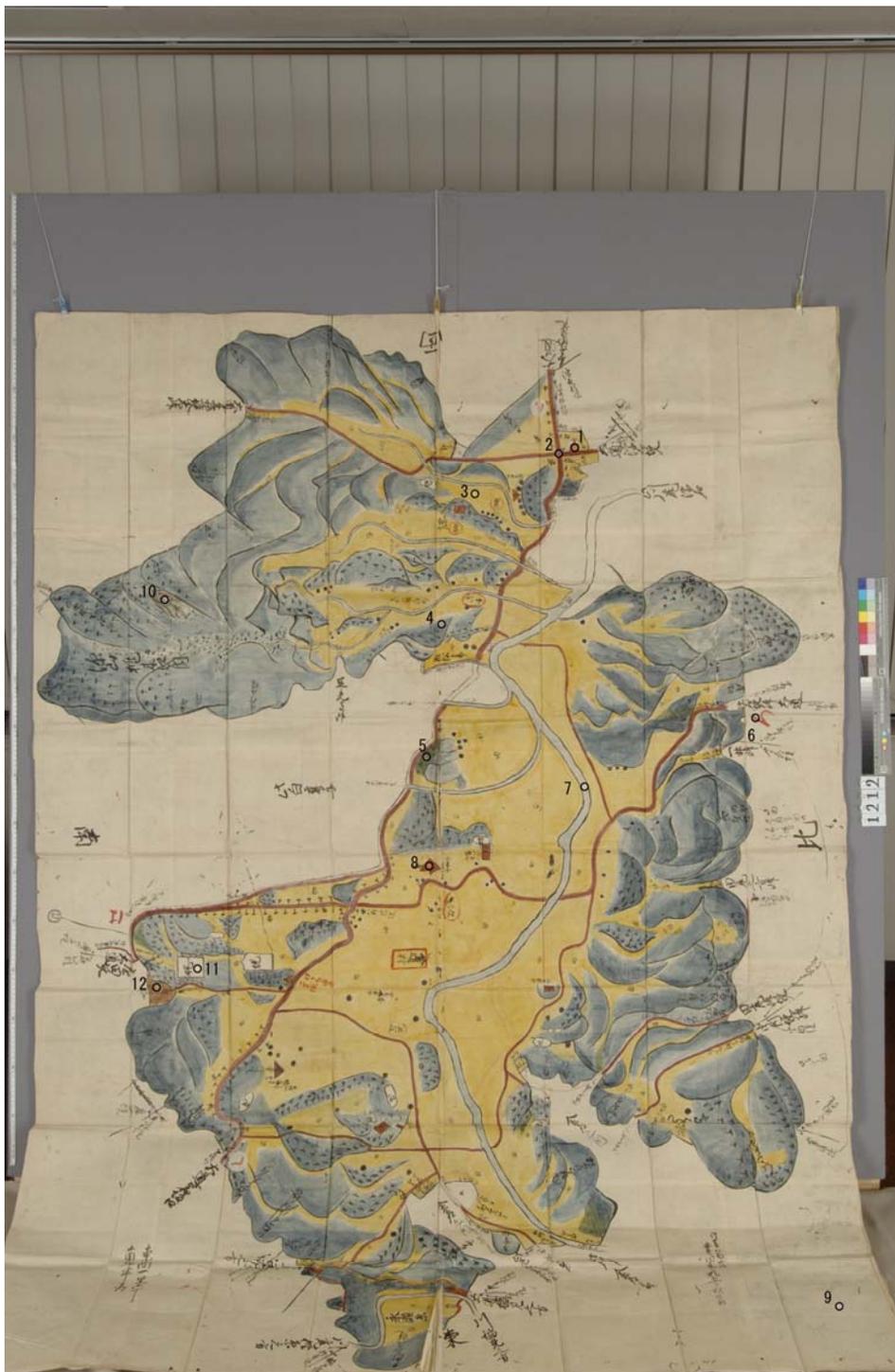
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	26	モチーフ	幹	色	灰緑色	推定顔料名	白緑+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で灰緑色を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、緑青と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	
						主成分:Cu	

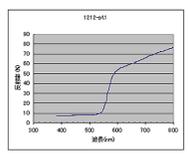
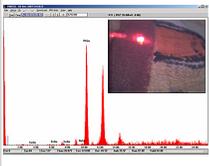
絵図名	238-2	防長両国大絵図(長門国)	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	27	モチーフ	一里塚	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			正保国絵図献上控
					2007/11/05測定	2007/11/05測定	
						主成分:検出せず	

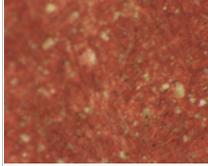
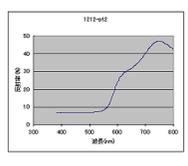
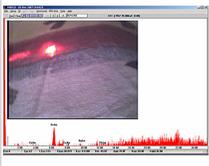
地下上申絵図（資料番号1212）の測定ポイント



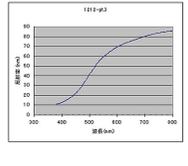
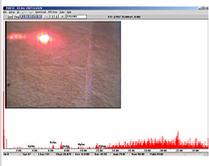
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	一里塚	色	オレンジ色	推定顔料名	丹か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼でオレンジ色、175倍顕微鏡写真の観察でオレンジ色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にPb元素が検出したことから、丹と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Pb 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
	2007/11/06撮影		2007/11/06撮影		2007/11/06測定	2007/11/06測定	

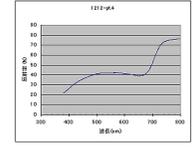
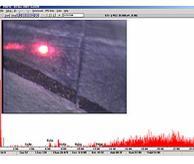
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	道	色	茶色	推定顔料名	ベンガラか
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で茶色、175倍顕微鏡写真の観察で茶色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にFe元素が検出したことから、ベンガラと推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分:Fe 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
	2007/11/06撮影		2007/11/06撮影		2007/11/06測定	2007/11/06測定	

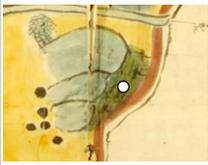
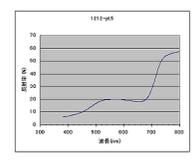
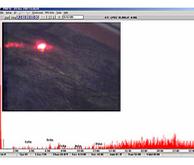
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	田	色	黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、ガンボージ又は鬱金を主成分とするの染料の特徴を示していることから、藤黄と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

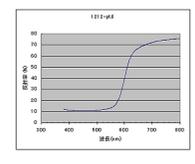
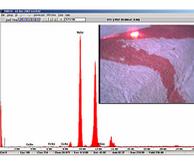
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	山	色	青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

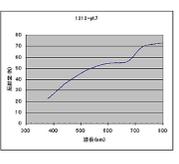
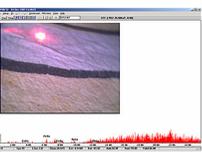
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	葉	色	緑色	推定顔料名	草の汁か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で緑色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料とガンボージ又は鬱金を主成分とする染料との混色の特徴を示していることから、草の汁(藍+藤黄)と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

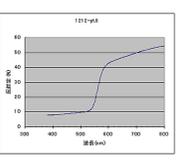
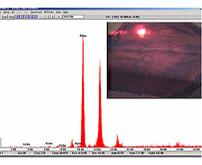
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	文字「ろ」	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Hg 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

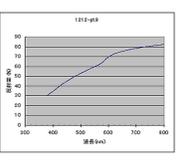
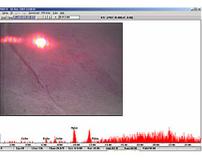
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	7	モチーフ	川	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料の特徴を示していることから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

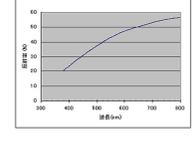
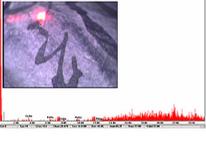
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	8	モチーフ	寺	色	暗オレンジ色	推定顔料名	丹か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼でオレンジ色を確認。蛍光X線分析は主にPb元素が検出したことから、丹と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Pb 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

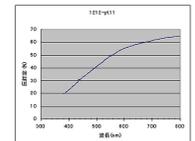
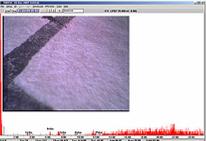
絵図名	1212	八道村地下図青色	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	9	モチーフ	裏面文字	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Hg 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

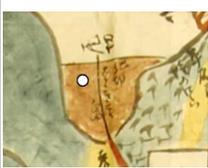
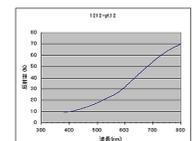
絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	10	モチーフ	岩	色	薄黒色	推定顔料名	薄墨か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で薄黒色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、薄墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: 検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

絵図名	1212	1212八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	11	モチーフ	堤	色	紙地	推定顔料名	色なし
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で紙色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、色なしと推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: 検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

絵図名	1212	八道村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	12	モチーフ	鳥	色	茶色	推定顔料名	不明
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で茶色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。現時点では、顔料を推定することができなかった。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: 検出せず 豊浦郡長府領 享保12 (1726) 地下図 I
					2007/11/06測定	2007/11/06測定	

地下上申絵図（資料番号996）の測定ポイント

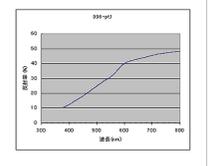
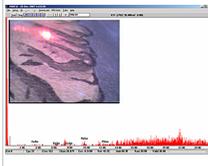


絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館
-----	-----	---------	------	--------

ポイントNo.  モチーフ

絵図調査日

色	薄オレンジ色	推定顔料名	朱+藤黄か
DICNo.	<input type="text"/>	肉眼で薄オレンジ色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黄色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出、ガンボージ又は鬱金を主成分とする染料混色の特徴を示していることから、藤黄と朱の混色と推定した。	

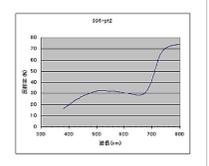
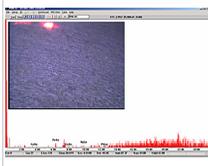
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: Hg <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D

絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館
-----	-----	---------	------	--------

ポイントNo.  モチーフ

絵図調査日

色	薄青色	推定顔料名	藍か
DICNo.	<input type="text"/>	肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、indigoを主成分とする染料との特徴を示していることから、藍と推定した。	

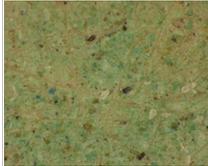
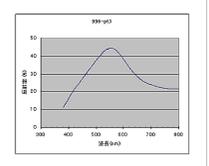
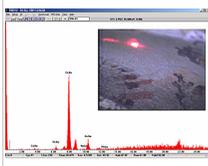
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: 検出せず <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D

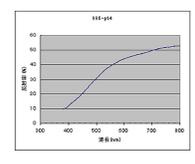
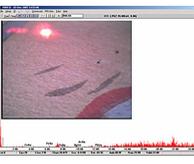
絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館
-----	-----	---------	------	--------

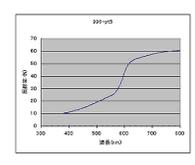
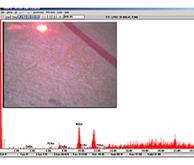
ポイントNo.  モチーフ

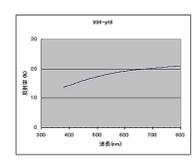
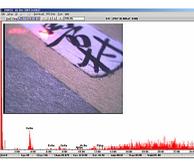
絵図調査日

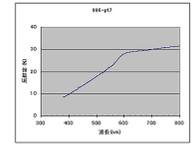
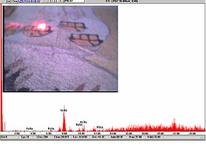
色	薄緑色	推定顔料名	白緑か 白緑+雌黄か
DICNo.	<input type="text"/>	肉眼で緑色、100倍顕微鏡と175倍顕微鏡写真の観察で緑色の粒子、黄色を確認。蛍光X線分析は無反応主にCu・As元素が検出したことから、緑青と推定した。	

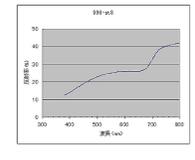
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
		画像なし		画像なし			主成分: Cu 少量成分: As <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	2007/11/05撮影	2007/11/05調査	2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D ・白緑と砒素系の顔料を混ぜたものか ・白緑の鉱石に砒素系の顔料が混入していたのか ・白緑に少しの黄色の粒子が見えた(PEAK)

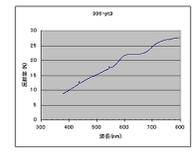
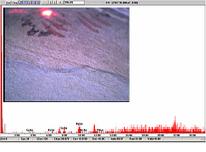
絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	平地	色	薄黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄黄色、100倍顕微鏡の観察で黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかった。可視反射分光スペクトルは、ガンボーシ又は鬱金を主成分とする染料の特徴を示していることから、藤黄と推定した。	
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:検出せず
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D

絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	道	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Hg
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D

絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	村形(下田万村)	色	白色	推定顔料名	胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で白色、100倍顕微鏡の観察で白色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出したことから、胡粉と推定した。	
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分:Ca
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D

絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	7	モチーフ	壁(民家)	色	オレンジ・緑色	推定顔料名	朱か	緑青か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼でオレンジ色と緑色、100倍顕微鏡の観察で赤色と緑色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg・Cu元素が検出したていることから、朱と緑青と推定した。		
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ	
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: Hg 主成分: Cu	
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D	

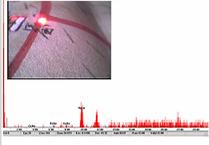
絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	8	モチーフ	山	色	薄黒色	推定顔料名	藍と墨か	
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄黒色、100倍顕微鏡の観察で青色と黒色と赤色を確認したことから、藍と墨と推定した。		
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ	
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		画像なし	阿武郡奥阿武宰判清図D	
		2007/11/05調査			2007/11/05測定			

絵図名	996	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	9	モチーフ	幹	色	暗赤色	推定顔料名	朱+墨か	
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で暗赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と墨の混色と推定した。		
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ	
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			主成分: Hg	
		2007/11/05調査			2007/11/05測定	2007/11/05測定	阿武郡奥阿武宰判清図D	

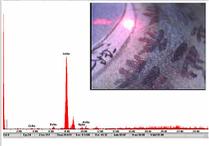
地下上申絵図（資料番号872）の測定ポイント



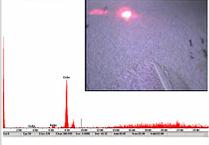
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	道	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Hg 阿武郡都当島宰判 清図E
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

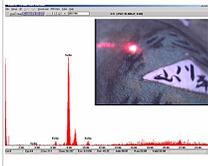
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	葉	色	濃緑色	推定顔料名	緑青か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で濃緑色、100倍顕微鏡の観察で緑色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、緑青と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Cu 少量成分: As 阿武郡都当島宰判 清図E ・砒素(雌黄)が含有さ れた緑青か
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

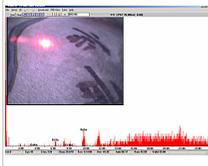
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	草	色	薄緑色	推定顔料名	白緑か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄緑色、100倍顕微鏡の観察で緑色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、白緑と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Cu 阿武郡都当島宰判 清図E
		2007/11/05調査					

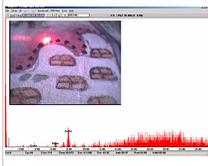
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	山	色	濃緑色	推定顔料名	緑青か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で濃緑色、100倍顕微鏡の観察で緑色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、緑青と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Cu 少量成分:As	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			阿武郡都当島宰判 清図E ・砒素(雌黄)が含有された緑青か
		2007/11/05調査				2007/11/05測定		

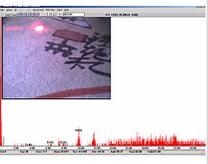
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	幹	色	赤茶色	推定顔料名	朱+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤茶色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Hg	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			阿武郡都当島宰判 清図E
		2007/11/05調査				2007/11/05測定		

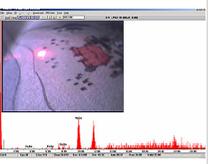
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	境界線	色	薄赤色	推定顔料名	胭脂か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、胭脂と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:検出せず	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし			阿武郡都当島宰判 清図E
		2007/11/05調査				2007/11/05測定		

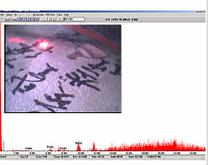
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	7	モチーフ	高札(鉄砲札)	色	赤茶色	推定顔料名	朱+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤茶色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黒色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分: Hg	阿武郡都当島宰判 清図 E
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	8	モチーフ	宮	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

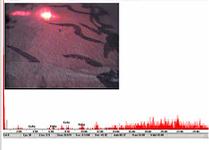
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分: Hg	阿武郡都当島宰判 清図 E
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

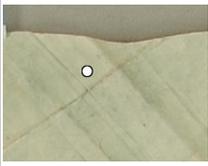
絵図名	872	樺東分清図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	9	モチーフ	一里塚	色	薄赤茶色	推定顔料名	朱+墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄赤茶色を確認。蛍光X線分析は主にHgが検出したことから、朱と墨の混色と推定した。	

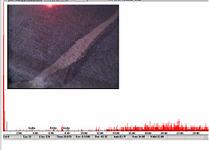
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分: Hg	阿武郡都当島宰判 清図 E
						2007/11/05測定	

地下上申絵図（資料番号995）の測定ポイント

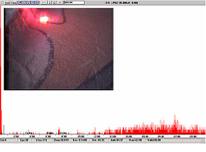


絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	岩	色	薄オレンジ色	推定顔料名	朱+藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄オレンジ色、100倍顕微鏡の観察でオレンジ色の粒子、黄色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、藤黄と朱の混色と推定した。	
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Hg 阿武郡奥阿武宰判 宝暦3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

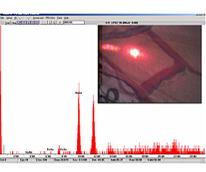
絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	海	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、藍と推定した。	
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: 検出せず 阿武郡奥阿武宰判 宝暦3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	葉	色	薄黒色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄黒色、100倍顕微鏡の観察で青色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、藍と推定した。	
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: 検出せず 阿武郡奥阿武宰判 宝暦3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

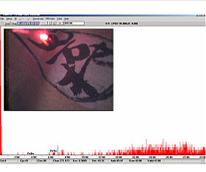
絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	平地	色	薄黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄黄色、100倍顕微鏡の観察で黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、藤黄と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: 検出せず 阿武郡奥阿武宰判 宝暦3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	道	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Hg 阿武郡奥阿武宰判 宝暦3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	村形	色	紙地	推定顔料名	色なし
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で紙色、100倍顕微鏡の観察で無色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、色なしと推定した。	

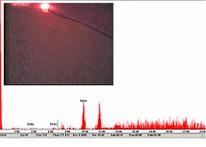
絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: 検出せず 阿武郡奥阿武宰判 宝暦3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

絵図名	995	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館
-----	-----	---------	------	--------

ポイントNo.  モチーフ

絵図調査日

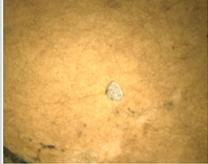
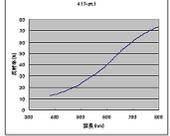
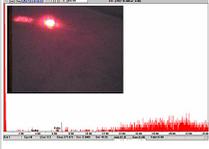
色  推定顔料名   
 肉眼で薄オレンジ色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Hg 阿武郡奥阿武宰判 宝曆3 (1753) 地下図IV
		2007/11/05調査				2007/11/05測定	

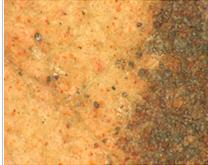
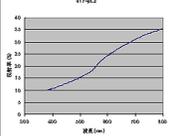
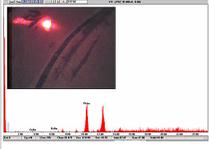
地下上申絵図（資料番号417）の測定ポイント



絵図名	417	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	田	色	薄茶色	推定顔料名	不明
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄茶色、175倍顕微鏡写真の観察で茶色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、推定顔料は不明である。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:検出せず	メモ
		画像なし		画像なし				阿武郡徳地宰判 元文2年(1737) 地下図Ⅲ  Feは紙地に由来か
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

絵図名	417	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	道	色	薄赤色・濃赤	推定顔料名	丹か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄赤と濃赤色、175倍顕微鏡写真の観察で赤色の粒子を確認。蛍光X線分析は主にPb元素が検出したことから、丹と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	主成分:Pb	メモ
		画像なし		画像なし				阿武郡徳地宰判 元文2年(1737) 地下図Ⅲ
	2007/11/05撮影		2007/11/05撮影		2007/11/05測定	2007/11/05測定		

絵図名	417	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	川	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色を確認したことから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル		メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		阿武郡徳地宰判 元文2年(1737) 地下図Ⅲ

絵図名	417	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	山(輪郭)	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色を確認したから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	阿武郡徳地宰判 元文2年(1737) 地下図Ⅲ

絵図名	417	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	貼り紙	色	青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄青色を確認したことから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	阿武郡徳地宰判 元文2年(1737) 地下図Ⅲ

絵図名	417	下田万村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	山	色	赤茶色	推定顔料名	不明
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤茶色を確認したが、推定顔料は不明である。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	阿武郡徳地宰判 元文2年(1737) 地下図Ⅲ ・柿渋か?
						未調査	

絵図名

417

下田万村地下図

所蔵期間

山口県文書館

ポイントNo.

7

モチーフ

文字

色

赤色

推定顔料名

丹か

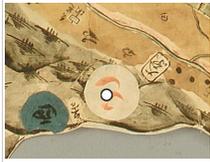
絵図調査日

2007/11/05

DICNo.

肉眼で赤色を確認したことから、丹と推定した。

絵図(部分)



×25(キーエンス)

画像なし

×100(ピーク)

画像なし

×175(キーエンス)

画像なし

赤外線写真(部分)

画像なし

可視反射スペクトル

画像なし

蛍光X線スペクトル

画像なし

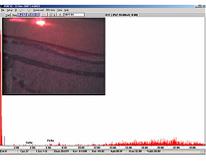
メモ

阿武郡徳地宰判  
元文2年(1737)  
地下図Ⅲ  
・柿渋か?

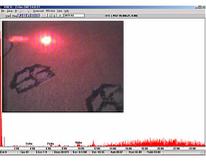
地下上申絵図（資料番号1071）の測定ポイント



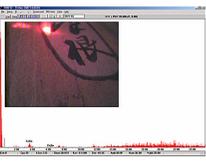
絵図名	1071	藤谷村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	平地	色	黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黄色を確認。蛍光X線分析は主成分が検出されなかったことから、藤黄と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分:検出せず 玖珂郡岩国領 寛保3年(1743) 地下図IV Feは紙地に由来か
						2007/11/05測定	

絵図名	1071	藤谷村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	山すそ	色	薄オレンジ色	推定顔料名	朱+藤黄か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で薄オレンジ色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と藤黄の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Hg 玖珂郡岩国領 寛保3年(1743) 地下図IV Feは紙地に由来か
						2007/11/05測定	

絵図名	1071	藤谷村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	村形	色	白色	推定顔料名	胡粉か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で白色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出したことから、胡粉と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		主成分: Ca 玖珂郡岩国領 寛保3年(1743) 地下図IV
						2007/11/05測定	

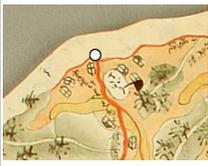
絵図名	1071	藤谷村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	葉	色	黒色	推定顔料名	墨か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で黒色確認したことから、墨と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	玖珂郡岩国領 寛保3年(1743) 地下図IV

絵図名	1071	藤谷村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	壁(神社)	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色を確認したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	玖珂郡岩国領 寛保3年(1743) 地下図IV

絵図名	1071	藤谷村地下図	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	道	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/05			DICNo.		肉眼で赤色を確認したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	玖珂郡岩国領 寛保3年(1743) 地下図IV

絵図名

1071

藤谷村地下図

所蔵期間

山口県文書館

ポイントNo.

7

モチーフ

方位(西)

色 白色

推定顔料名

胡粉か

絵図調査日

2007/11/05

DICNo.

肉眼で白色を確認したことから、胡粉と推定した。

絵図(部分)



×25(キーエンス)

画像なし

×100(ピーク)

画像なし

×175(キーエンス)

画像なし

赤外線写真(部分)

画像なし

可視反射スペクトル

画像なし

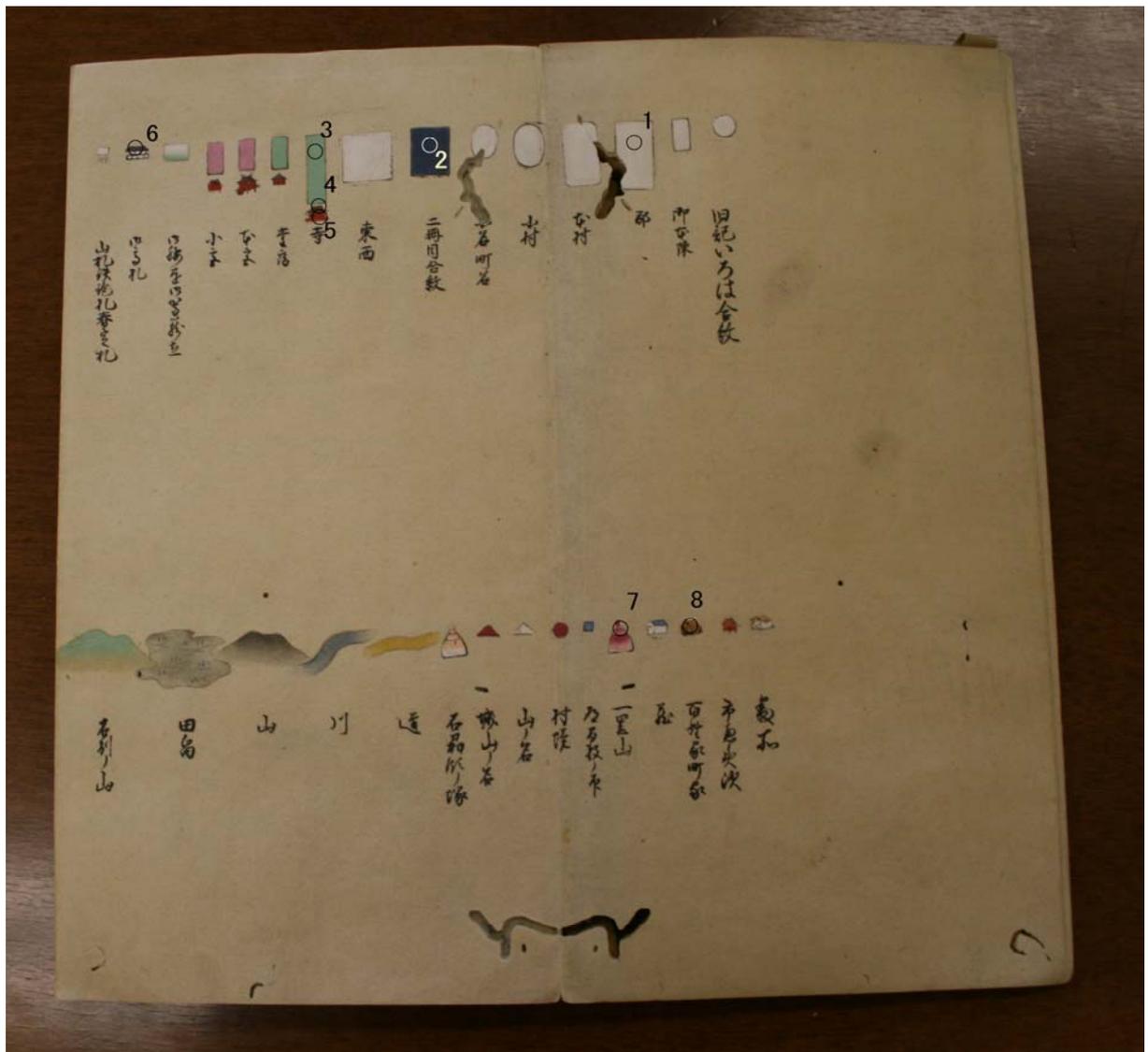
蛍光X線スペクトル

画像なし

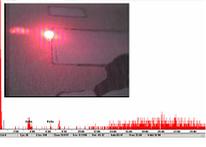
メモ

玖珂郡岩国領  
寛保3年(1743)  
地下図IV

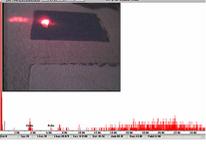
「御国廻行程記」凡例（資料番号577-7-1）の測定ポイント



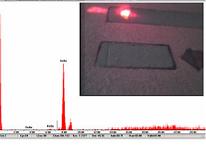
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	1	モチーフ	凡例:郡・村・町等地色	色	白色	推定顔料名	胡粉か
絵図調査日	2007/11/05				DICNo.		肉眼で白色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出したことから胡粉と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Ca	毛利家文庫
						2007/11/05測定	

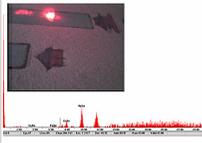
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	2	モチーフ	凡例:二冊目合紋	色	青色	推定顔料名	藍+胡粉か
絵図調査日	2007/11/06				DICNo.		肉眼で青色を確認。蛍光X線分析は主にCa元素が検出したことから、藍と胡粉の混色と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Ca	毛利家文庫
						2007/11/05測定	

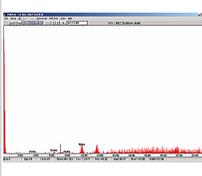
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	3	モチーフ	凡例:地所(寺)堂厨	色	緑色	推定顔料名	白緑か
絵図調査日	2007/11/06				DICNo.		肉眼で緑色を確認。蛍光X線分析は主にCu元素が検出したことから、白緑と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Cu	毛利家文庫
						2007/11/05測定	

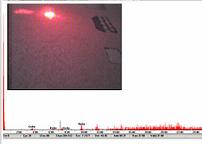
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	4	モチーフ	凡例:屋根(寺)	色	茶色	推定顔料名	朱+墨か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で茶色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分: Hg 2007/11/05測定	毛利家文庫

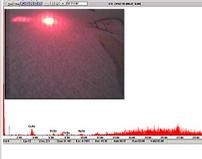
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	5	モチーフ	凡例:壁(寺)	色	赤色	推定顔料名	朱か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で赤色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分: Hg 2007/11/05測定	毛利家文庫

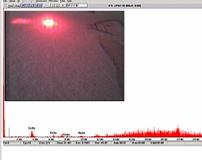
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	6	モチーフ	凡例:屋根(御高札)	色	茶色	推定顔料名	朱+墨か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で茶色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分: Hg 2007/11/05測定	毛利家文庫

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	7	モチーフ	凡例:石州領ノ塚	色	薄オレンジ色	推定顔料名	胡粉か	朱か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で薄オレンジ色を確認。蛍光X線分析は主にCa・Hg元素が検出したことから、朱と胡粉の混色と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Ca 少量成分:Hg 2007/11/05測定	毛利家文庫

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	8	モチーフ	凡例:百姓家町家	色	茶色	推定顔料名	朱+藤黄+墨か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で茶色を確認。蛍光X線分析は主にHg元素が検出したことから、朱と藤黄と墨の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 主成分:Hg 2007/11/05測定	毛利家文庫

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	9	モチーフ	凡例:御腰遠?御駕掛?立	色	白・緑色	推定顔料名	胡粉か	白緑か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で白色と緑色、100倍顕微鏡で緑色の粒子、白色を確認したことから、胡粉と緑青と推定した		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	 2007/11/06調査	毛利家文庫

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	10	モチーフ	凡例:山札鉄砲札春定?札	色	白色	推定顔料名	胡粉か	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で白色、100倍顕微鏡の観察で白色を確認したことから、胡粉と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	11	モチーフ	凡例:寝?所(屋根)	色	薄オレンジ色	推定顔料名	朱か	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼でオレンジ色、100倍顕微鏡で赤色の粒子を確認したことから、朱と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	12	モチーフ	凡例:市?恵?受?次?(建物)	色	赤・茶色	推定顔料名	朱か 朱+墨か	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で赤と茶色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子、黒色を確認したことから、朱と、朱と墨の混色と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

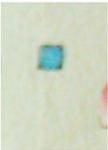
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	13	モチーフ	凡例:屋(屋根)	色	青色	推定顔料名	藍+胡粉か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で青色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色を確認したことから、屋根は藍と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	14	モチーフ	凡例:一里山	色	薄桃色	推定顔料名	胭脂か 胡粉か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で薄桃色、100倍顕微鏡の観察で白と赤色を確認したことから胡粉と胭脂と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	15	モチーフ	凡例:道間敷ノ印	色	青色	推定顔料名	藍+胡粉か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で白色と青色を確認したことから、藍と胡粉の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

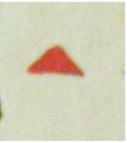
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	16	モチーフ	凡例:村境	色	赤色	推定顔料名	朱か	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認したことから、朱と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	17	モチーフ	凡例:山ノ名	色	白色	推定顔料名	胡粉か	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で白色、100倍顕微鏡の観察で白色を確認したことから、胡粉と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館				
ポイントNo.	18	モチーフ	凡例:城山ノ名	色	赤色	推定顔料名	朱か	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で赤色、100倍顕微鏡の観察で赤色の粒子を確認したことから、朱と推定した。		

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

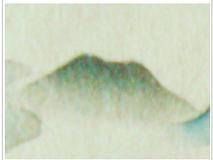
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	19	モチーフ	凡例:道	色	黄色	推定顔料名	藤黄か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で黄色、100倍顕微鏡の観察で黄色を確認したことから、藤黄と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

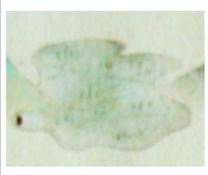
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	20	モチーフ	凡例:川	色	薄青色	推定顔料名	藍か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で薄青色、100倍顕微鏡の観察で青色を確認したことから、藍と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

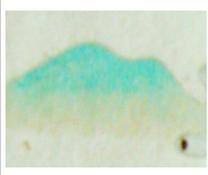
絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	21	モチーフ	凡例:山	色		推定顔料名	
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.			

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	22	モチーフ	凡例:田畠	色	薄緑色	推定顔料名	草の汁か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で薄緑色、100倍顕微鏡の観察で青色と黄色を確認したことから、藍と藤黄の混色と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	23	モチーフ	凡例:石州ノ山	色	緑色	推定顔料名	白緑か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で緑色、100倍顕微鏡の観察で緑色の粒子を確認したことから、白緑と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名	30地誌 57-7-1	御国廻御行程記	所蔵期間	山口県文書館			
ポイントNo.	24	モチーフ	凡例:東西	色	白色	推定顔料名	胡粉か
絵図調査日	2007/11/06			DICNo.		肉眼で白色、100倍顕微鏡の観察で白色を確認したことから、胡粉と推定した。	

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	毛利家文庫
		2007/11/06調査					

絵図名

30地誌 57-7-1

御国廻御行程記

所蔵期間

山口県文書館

ポイントNo.

25

モチーフ

凡例:地所(堂厨?)

色

緑色

推定顔料名

白緑か

絵図調査日

2007/11/06

DICNo.

肉眼で緑色、100倍顕微鏡の観察で緑色の粒子を確認したことから、白緑と推定した。

絵図(部分)	×25(キーエンス)	×100(ピーク)	×175(キーエンス)	赤外線写真(部分)	可視反射スペクトル	蛍光X線スペクトル	メモ
	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし	画像なし		毛利家文庫
		2007/11/06調査					